

助成事業

訪ねたい・使い続けたい建築選定事業

助成団体

特定非営利活動法人

都市づくりNPOさいたま

事業内容

価値を伝えられず取り壊される名建築が世の中には多くある。特に取り壊されやすい戦後1950年代～バブル期～2000年代の建物に焦点を当てる事で、それら建物の価値や素晴らしさを再発見する手助けをねらう。これらの建物は私たちがもつ街の記憶を醸成してきた。スクラップするだけではなく、新たな意味を問い直してみること、これからの地球環境時代を具体的に考えていく視点を与えてくれる。

今回のそのためのHPを作成した。

「訪ねたい・使い続けたい建築」

作成しています

訪ねたい・使い続けたい建築

～埼玉の戦後建築

価値を伝えられず取り壊される良建築が世の中には多くある。特に取り壊されやすい戦後1950年代～バブル前～2000年代あたりの建築を中心に重点を当てる事で、それら建物の価値が再評価しさを再発見する手助けに役立てたい。

1. メインメニュー

ホーム 埼玉建築家 埼玉建築家 埼玉建築家 埼玉建築家 埼玉建築家 コラム 建築家モデルコース



事業内容
の写真



2. 市町村カテゴリーによる分類

さいたま市、埼玉建築家

さいたま市職員研修センター・大宮東図書館

設計：鈴木隆+AMS 鈴木隆氏(1925年～)



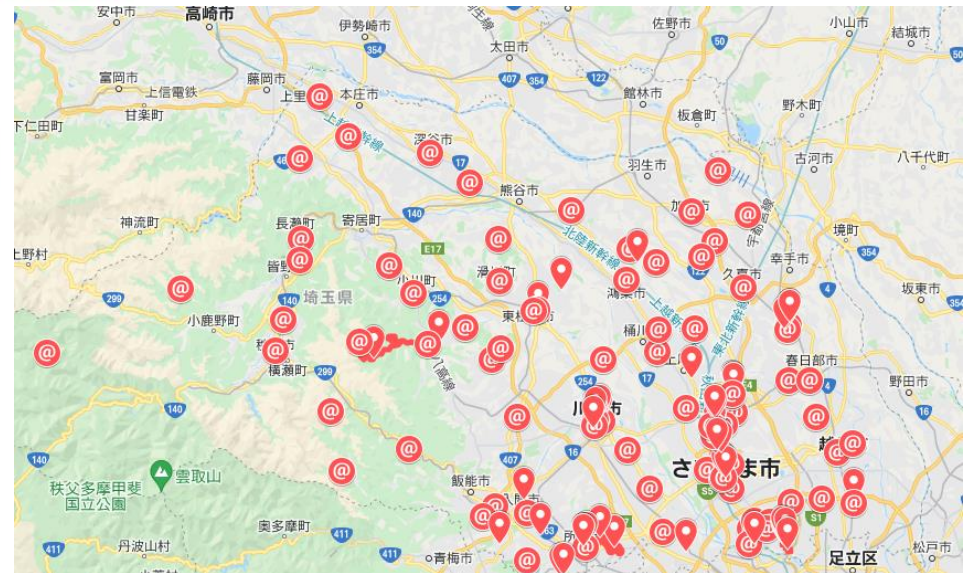
3. キーワードタグによる分類

さいたま市、埼玉建築家

埼玉県会館

設計：朝川道男

4. 全文文字検索



5. Googleマイマップとの連携



地図から見る

選考委員がこの数年で訪ねた場所の地図です。【@】アイコンの場所はホームページにも記載されています。



さいたま市、埼玉建築家

戸田市文化会館

設計：花塚武夫建築設計事務所

事業の成果

- 1 地域に開かれた建築物を対象に、83件抽出できた。
- 2 今後の展開「使い続ける」の参考となる具体例を把握できた。
例：嵐山カントリークラブハウス他でのヒアリング「使い続ける」
宮代町進修館でのシンポジウム「ファンクラブの結成」
- 3 HPには「訪ねたい・使い続けたい」を考える視点を示すコラムなどの文章をまとめることができた。

今後に向けて

- 1 対象となる建築物をさらに増やしていきたい。目標100件。
- 2 HPには街角の記憶を醸成してきた具体的な場面を想起できるようにコラムなどを充実していきたい。
- 3 建築見学や街歩きツアーなどの企画を市民や他団体と協力して立案し実施していきたい。